

野河内尾根道整備 “お疲れさん会”のご案内

“野河内から林道を歩かずに、井原山まで歩ける尾根道を拓けないか？”という曲淵地区からの声を耳にしたのが発端でした。

かつては市民の身近な探勝地として訪れる人々で賑わった野河内溪谷ですが、夏の沢登りを除けば、市民の関心は瑞梅寺をベースとした水無鍾乳洞～井原山のハイキングやミツバツツジ・オオキツネノカミソリ鑑賞へシフトして来ました。

野河内溪谷沿いに拓かれた林道の単調な歩きや、そこへ入り込むバイクを敬遠して登山者やハイカーの足が遠退いている事も考えられます。

野河内溪谷の自然を活かしながら、もっと多くの市民が楽しめるフィールドにできないかと、地元の方々も動き出されています。日頃からお世話になっている山域であり、週末に継続した整備活動が行えるという事から、新年に尾根道の整備を計画しました。

- ①646m～693mの尾根を利用する。
- ②野河内溪谷ベンチ周辺に取付き点を一箇所作る。
- ③主尾根の山作業道を生かして一般登山者向けの安全な取付き点を一箇所作る。
- ④植林地に踏み込むルートは極力避けて、尾根を忠実にトレースする。
- ⑤下草、ルート上の低木の伐採、倒木の片付け、無用なテープの片付けを行う。
- ⑥取付き二箇所、その合流点、自然歩道との合流点に標識板を設置する。
- ⑦春山のシーズンに間に合わせる。
- ⑧会のHPにルート情報を載せて、一般の利用を広げる。

1月9日に尾根下見を兼ねて初回の整備行動。尾根はしっかりしており、自然林も豊富で歩きやすい事が判りました。

2回目の作業より会員の協力が得られるようになった事で、通算6日目となる2月11日に尾根ルート上の障害物を取り除き、自然歩道につなぎました。

特段の呼びかけは行わなかった今回の作業に対して、三々五々駆け付けて戴いた皆さん、本当にありがとうございました。自分が復活させた道として末長くご利用いただきたいと思えます。

そこで、作業が完全に完了したという訳ではありませんが、お疲れさん会を企画しました。鍋囲んで、今流行りの“自分へのご褒美”としましょう！

日時 : 3月5日(土曜)

集合 : 野河内溪谷専用無料駐車場AM9時

企画 : 標識板を三箇所に設置しながらルートを登ります

- ・主尾根取付き標識板設置
- ・野河内溪谷ベンチ標識板設置
- ・2コースで登り、分岐点を経て自然歩道合流点へ。標識板設置
- ・野河内ベンチへ降りて鍋準備

用意するもの : 食器

メニュー : 猪鍋(食材は会員のY女子より提供戴きます)